

日本心血管理学療法学会「COVID-19 関連情報特別チーム」
海外の専門情報

No. 64

調査者	藤田 吾郎、井澤 和大
情報ソースの刊行日	2020年5月5日
情報ソースの調査日	2021年1月9日
日本理学療法士学会 HP に公開された日	2021年1月14日
日本語タイトル	先天性心疾患の子供における COVID-19 パンデミック中の身体活動の低下
情報ソース	Hemphill NM, et al. Reduced Physical Activity During COVID-19 Pandemic in Children With Congenital Heart Disease. Can J Cardiol. 2020 Jul;36(7):1130-1134.
情報のカテゴリー	心疾患全般
発信地域	北アメリカ(カナダ)
URL	https://doi.org/10.1016/j.cjca.2020.04.038
要約	<ul style="list-style-type: none"> 先天性心疾患(CHD)の子供における心臓血管系リスクの増加は、身体活動によって軽減される可能性がある。しかし、COVID-19 のために実施された公衆衛生対策は身体活動を困難にする可能性がある。 本研究の目的は、CHD の子供における COVID-19 パンデミックの初期段階で観察された身体活動の変化を定量化することである。 対象は、9～16 歳の先天性心疾患の子供 109 人であった。 身体活動は、Fitbit による歩数が用いられた。 2020年3月下旬と4月上旬の歩数は、2019年と2020年3月上旬(パンデミック前)に比べて著しく少なかった。 2020年には、世界保健機関が COVID-19 パンデミック宣言を出した頃から歩数が減少しはじめた。なお、大幅な減少は、州の非常事態宣言、2mの身体距離の実施、K-1 学校(※幼稚園から高校)の停止の後に生じた。 CHD の子供の身体的および心臓血管系の健康への潜在的な負の影響に加えて、身体活動の減少による精神的な健康への影響も考慮しなければならない。 子供とその家族が、公衆衛生上の注意事項にどのように適応し、より高いレベルの身体活動を再開できるかについて更なる検討を要する。